



岡山フィルハーモニック管弦楽団

ベートーヴェン

第九

演奏会 2022

曲目
ベートーヴェン
交響曲第9番ニ短調
「合唱付き」



指揮 矢崎 彦太郎
ソプラノ 柳 くるみ
アルト 大垣 加代子
テノール 清水 徹太郎
バス 松森 治
合唱 岡山「第九」を歌う市民の会
管弦楽 岡山フィルハーモニック管弦楽団



12/11 2022 (sun.)

入場料 S席 5,500円
A席 4,400円
B席 3,300円
B席(ユース) 1,000円

全席指定

プレイガイドは裏面をご覧ください

※「友の会」会員は20%割引。
※「岡山音協」会員は15%割引。お求めは岡山音協へ。
※B席ユースは19歳以下に限る(学生証をお持ちの方は25歳未満までご購入いただけます)。
※チケット購入時には、来場者(代表)の氏名及び緊急連絡先をご申告いただき、
万が一公演中に体調を崩されたお客様がいた場合は、医療機関及び保健所の
公的機関の求めに応じて来場者の情報を提供させていただく場合がございます。
※未就学児のお子様の入場はお断りします。また、小学生以上の場合には入場券が必要です。
※「第九」の演奏が始まりますと途中入場いただけません。

15:00開演(14:00開場)

岡山シンフォニーホール

主催:公益財団法人岡山文化芸術創造・岡山市・岡山市芸術祭実行委員会
公演に関するお問い合わせ:岡山シンフォニーホール 事業部 TEL.086-224-1950



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興



指揮 矢崎 彦太郎

1947年東京生まれ。4才よりピアノを始め、上智大学数学科に学んだ後、同大学から東京芸術大学指揮科に再入学、金子登、渡邊暁雄、山田一雄各氏に指揮法を学んだ。日本フィル指揮研究員として小澤征爾の助手を務めた後、東京ユース・シンフォニー・オーケストラのスイス演奏旅行に同行、公演後ヨーロッパ各地を移り住みながら、スワロフスキー、チェリビダツケなどに師事。プザンソン国際指揮者コンクールなどに入賞を果たし、1975年ボーンマス交響楽団皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC響などに招かれる。1979年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期を指揮し日本にも本格的なデビューを果たす。また、ダニエル・ルスジュール作曲「オンディーヌ」の世界初演でオペラにも活動の場を広げて以来、ポルドー歌劇場、二期会、関西二期会にも招かれている。これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツフフ交響楽団（西独）音楽監督・首席指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者、バンコク交響楽団音楽監督・首席指揮者、ジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督などを歴任。現在は、2010年よりバンコク・シルバコン・サマー・ミュージック・スクール・ミュージック・アドバイザー、2015年よりバンコク・プロムジカ・オーケストラ客演指揮者を務めている。2000年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、2008年には同オフィシエ勲章を受勲。2002年エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。パリ在住。

©有田周平



ソプラノ
柳 くるみ

岡山県岡山市出身。くらしき作陽大学卒業、同オペラ研究生修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院大学院課程を満点の成績で修了。2016年ベニヤミーノ・ジーリ国際声楽コンクール特別賞、2017年第36回飯塚新人音楽コンクール第2位受賞。2010年オペラ「椿姫」では、倉敷とミラノにてヴィオレッタを演ずる。2012年の渡伊後、現代アートの祭典であるヴェネツィア・ビエンナーレに参加し、新作オペラ2作品に出演。他にもF・ドナトーニ作曲の現代オペラ「アルフレード、アルフレード」等、オペラやコンサートに出演。帰国後は地元岡山を中心に、県内外にて意欲的に演奏活動を行なっている。くらしき作陽大学非常勤講師。



テノール
清水 徹太郎

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院研究科修了。第33回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位、第82回日本音楽コンクール入選他多数上位入賞。文部科学大臣賞、坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞他多数受賞。「カルメン」「ボエーム」「魔笛」「夕鶴」「オテロ」等多数のオペラの主要役で出演。「第九」「天地創造」「四季」「マタイ受難曲」等多数のソリストを務める。2016年山陽学園主催岡山シンフォニーホール、2021年新国立劇場・びわ湖ホール共催「カルメン」ドン・ホセ役の好演は記憶に新しい。びわ湖ホール声楽アンサンブルソング登録メンバー。京都市立芸術大学、大阪音楽大学、滋賀大学各講師。



アルト
大垣 加代子

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業。同志社女子大学音楽学会《頌啓会》特別専修生修了。京都市立芸術大学大学院音楽研究科修了。ロータリー財団より奨学金を得て2005-06年ロシア国立サンクトペテルブルク音楽院留学。第6回KOBEL国際学生音楽コンクール奨励賞、第2回大阪中央ロータリークラブ主催音楽コンクールディプロマ賞、第7回高槻音楽コンクール第2位、第10回ノーヴィ国際音楽コンクール第2位、及び審査員特別賞。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール専属声楽アンサンブルソング登録メンバー。関西二期会準会員。堺シティオペラアーティスト会員。

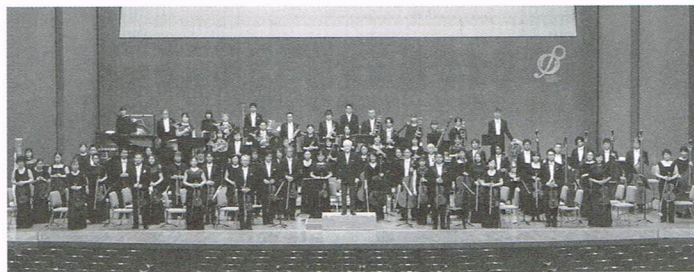


バス
松森 治

大阪音楽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。トリエステ・ヴェルディ歌劇場にて研修。びわ湖ホール声楽アンサンブル、新国立劇場合唱団、ザ・カレッジオペラハウス合唱団を経る。ソリストとしてもモーツァルト「レクイエム」やベートーヴェン交響曲「第九」をはじめ、オペラにおいても「魔笛」ザラストロや「フィガロの結婚」、「ドン・キホーテ」における題名役、「ラ・ボエーム」コッリーネなど多数出演し、最近では新国立劇場鑑賞教室公演「カルメン」スニガ役、日本オペラプロジェクト公演「夕鶴」惣ど役、びわ湖ホールオペラへの招待「竹取物語」帝役など多数出演。熊本県出身。

岡山フィルハーモニック管弦楽団

1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受けて、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団が1992年に創設。以来、世界の著名な指揮者・ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えている。また、2013年には岡フィル初の首席指揮者としてハンスイェルク・シェレンベルガーが就任し岡フィル強化に取り組んできた。2022年度からは秋山和慶がミュージック・アドバイザーに就任、一層の飛躍を図る。今後も岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまのオーケストラ」として皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。



平成12年第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞。

平成21年度岡山県教育関係功労者表彰。

平成15年第4回福武文化奨励賞受賞。

平成24年山陽新聞奨励賞受賞。

平成16年第1回マルセン文化賞受賞。

プレイガイド ※車いす席をお求めの方は、岡山シンフォニーホールチケットセンターへお問い合わせください

窓口 岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
販売 岡山県音楽文化協会 086-224-6066

Web

岡山シンフォニーホールチケットWEB予約
<https://www.okayama-symphonyhall.or.jp/ticket-re/>
右記QRコードからも購入いただけます→



チケットびあ (208-792) <https://t.pia.jp/>
※上記アドレスからのインターネット限定販売(無料会員登録必要となります)
ローソンチケット (64477) <https://l-tike.com/>

お願い

●発熱・せき等の風邪症状がある場合は、ご来館を自粛ください。
●感染防止のため、ご来場の際はマスクの着用(咳エチケット)にご協力をお願いいたします。

●液体せっけんによるこまめな手洗いをお願いいたします。アルコール消毒液も設置しておりますのでご利用ください。
●密集しやすい場所では間隔を空けてお並びください。